

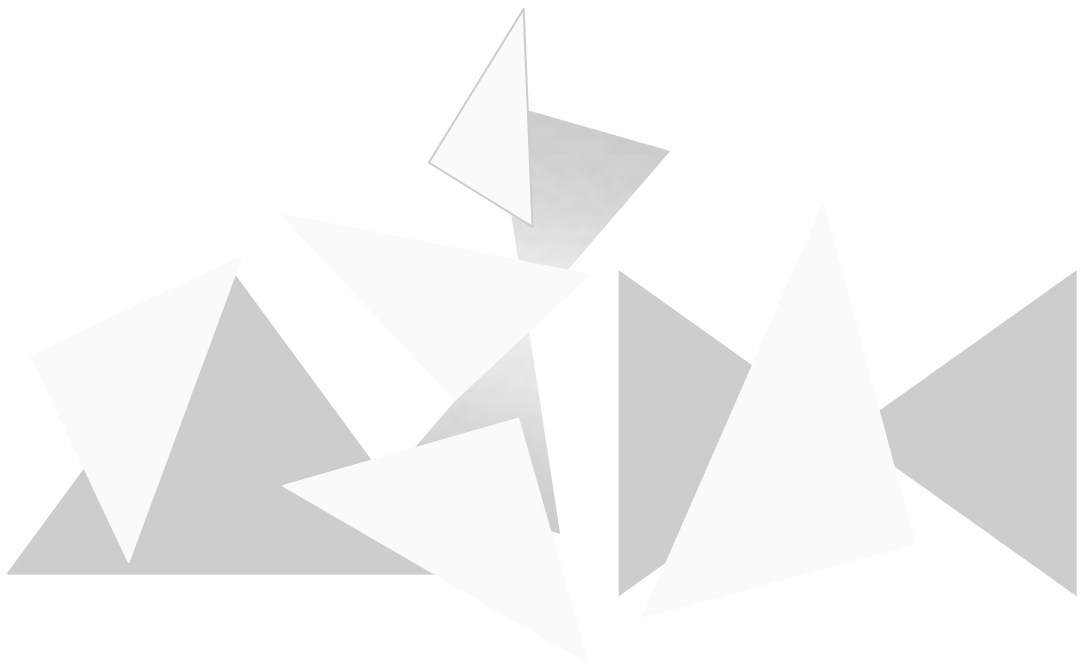
## 第1章

### 平成25年度の男女共同参画に関する主な動きと取組み

県では、平成13年3月に山形県男女共同参画計画を策定（計画期間：平成13～22年度）し、男女共同参画による豊かな地域社会を築くための取組みを進めて参りました。平成23年3月には、新たな山形県男女共同参画計画を策定し、さらなる推進に努めております。

特に平成25年7月に開催された全国知事会において、山形県知事がリーダーを務める男女共同参画プロジェクトチームで作成した提言書が全国知事会提言として決定され、8月に各府省に提言を行いました。

第1章では、男女共同参画社会づくりに関する表彰、ワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み、DV防止に向けた意識啓発の強化についてなど、平成25年度の男女共同参画に関する主な動きと取組みを御紹介します。



# 1. 全国知事会提言

## ウーマノミクスで地域再生・日本再生 ～女性の活躍促進のための提言～

### 1 取組みの背景

全国の知事が協力して、男女共同参画について総合的に調査・研究等を行い、適切な施策を強力に推進するため、全国知事会に男女共同参画プロジェクトチームが設置されています。

本県吉村知事は、平成24年7月から当プロジェクトチームのリーダーに任命され、各都道府県知事と協力して提言を取りまとめ、平成25年8月に各府省へ提言活動を行いました。

### 2 提言について

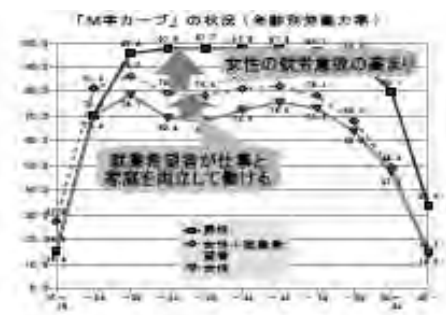
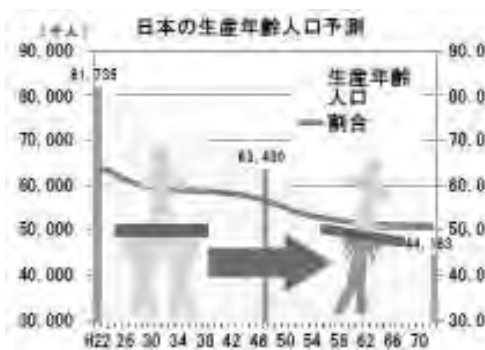
#### (1) 望ましい社会の姿

この提言では、「女性が自ら望む生き方を選択でき、男性が仕事と生活の調和が実現され、企業にとっても女性の視点により業績が向上し、社会にとっても就労人口の増加により経済成長につながる」ことを目的に、ワーク・ライフ・バランスが実現され、女性も最大限力を発揮できる社会の実現を目指しています。

#### (2) 現状・課題

わが国は人口減少社会の進展により、生産年齢人口が減少し現在の「2人で1人を支える社会」から「1人で1人を支える社会」になると推測されています。

労働力人口も減少していきませんが、現在、女性の労働力率は30代で70%を切っている状況にあるため、女性の活躍を促進し、労働力のM字カーブを解消することが、わが国の活力維持・向上に不可欠となっています。



さらに、日本経済・地域経済再生のために、女性が働き手として活躍し、消費者としてもリードする社会「ウーマノミクス (Woman + Economics) ～女性の活躍による経済の活性化～」の推進を柱として掲げ、多様な人材・視点によりイノベーションを生み出し、経済が活性化することを目指して提言しました。

#### (3) 提言の内容

<b>提言 1 企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進</b>
①ワーク・ライフ・バランスに関するポジティブキャンペーンの展開
②ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた短時間労働制度等の充実
③「次世代育成支援対策推進法」の中小企業への拡大・インセンティブの強化

## 提言 2 出産・育児・介護などのライフステージに応じた女性の就業継続・再就業支援

- ①女性の再就業に向けた優遇税制及び給付金の創設
- ②育児休業時の所得保障の引き上げ・代替要員の確保支援
- ③男性の育児参画の推進
- ④保育サービス等の一層の充実
- ⑤再就業に向けた女性のスキルアップ支援等の強化・充実
- ⑥女性に対する総合的・一体的な就労支援の充実

## 提言 3 地域を男女でともに支える社会の推進

- ①女性リーダーの登用に向けた行政機関における目標設定・民間への登用要請
- ②国民の意識啓発に向けたキャンペーンの実施 ～制度を活かす風土づくり～
- ③教育の各ステージにおける女性の活躍促進教育の充実
- ④地域を支える女性の活躍を促す支援制度の充実

## 提言 4 「日本の未来を創る女性活躍応援基金」の創設

- 地域の実情に応じた主体的な地方団体の取組みを加速する基金の創設

### 3 提言に対する国の主な対応状況

#### <提言 1>

○在宅勤務拡大に向け、育児休業給付の対象外となる勤務日数の要件を緩和し、短時間労働の推進が図られるようになります。

○平成 26 年度末で満了であった次世代育成支援対策推進法が 10 年間延長されることになり、非正規労働者の仕事育児の両立支援や中小企業でも取組みやすいよう基準の緩和などが図られます。

#### <提言 2>

○現行 50%の育児休業給付が、夫婦で取得すれば最大 66.7%に引き上げられます。

○安心子ども基金による保育所整備の充実が図られます。

#### <提言 3>

○各企業の女性管理職登用や育児休業からの復帰率、男性の育児休業取得等の情報を公開する女性の活躍「見える化」サイトが創設されます。

○小学校でのキャリア教育から子育て後の復職支援まで、女性の社会進出を後押しする取組みを一貫して行う特別チームが文部科学省に設置されます。

#### <提言 4>

○平成 25 年度の補正予算で「地域女性活躍加速化交付金」（予算額 1.3 億円 500 万円×25 団体）が創設されました。



内閣府別府大臣官房審議官に  
提言書を手交する吉村知事

### 4 今後の対応

国において一定の取組みはされたもののなお一層の取組みが必要なものや、今回、国における取組がなされなかったものについて、全国知事会として引き続き提言していくこととしています。

また、本県としても、国と役割分担しながら一体となって取組み、「男女ともに働き、暮らしやすい社会」「女性の活躍促進による経済の活性化の推進」を目指して、積極的に施策を進めていきます。

## 2 男女共同参画社会づくりに関する表彰

### 山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰

男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」を実施しました。

平成25年度は、功労者表彰 1団体、チャレンジ賞1名、3団体が受賞し、平成25年10月20日にチェリア・フェスティバル山形2013で表彰式が行われました。



吉村知事と受賞者

#### 受賞者概要（功労者表彰）

功労者表彰は、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が特に顕著であると認められる個人・団体を表彰するものです。

とくていひ えいりかつどうほつじん

#### 特定非営利活動法人 サポート唯（山形市）

さまざまな女性特有の悩みや課題を解決するために、平成14年任意団体を設立。以来DV被害者支援やひとり親家族への支援、男女共同参画の普及啓発などを実施。

DV被害者支援・被害防止では、電話や面接相談、寸劇によるDV防止セミナーなど、民間団体として先駆的な取り組みを行う。近年は、高校生対象のデートDVアンケートや大学生対象のワークショップを行い、若年層へのデートDV予防の啓発にも力を入れる。

また、女性の視点からの食や農の安全・食育に関する講座、防災ワークショップや政策提言のための県議会議員との懇談会等の実施等、男女共同参画社会づくりの実現に向け、幅広く活発な活動を行っている。

#### 受賞者概要（チャレンジ賞）

チャレンジ賞は、仕事や地域活動等、様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を表彰するものです。

#### 佐藤 奈津紀氏（真室川町）

専業主婦として子育てする傍ら絵本制作に取組み、多数の絵本コンクールでの受賞をはたす。絵本読み聞かせサークルを立ち上げ、会員・学校・地域と連携しながら、学校の統廃合により薄れていく地域コミュニティを再生させるため、子ども達と地域をつなぐ物語を制作し、DVD化する。これが、第61回自作視聴覚教材コンクール山形県大会 社会教育部門最優秀賞を受賞する。

また、この物語から子どもと地域住民による「駅の環境整備活動」に発展し、新たな地域活動のきっかけとなるなど、子育て支援にととまらず、地域の発展に貢献する取り組みを行っている。

#### つるおかたんしよきよつとつきんかく 鶴岡男女共同参画グループ「さんかく」（鶴岡市）

一人ひとりの個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の形成を目指し、男女共同参画に係る啓発活動を行うことを目的に市民団体を設立。

農家の方から会社員まで、ごく普通の若者が集まり、身近な問題や気づきをもとに、短期間の間に数々のイベントや講座を企画。「男性のための妊活講座」など、女性に偏ったものではなく、男女ともに幸せになるための事業となっており、若い世代からも共感を得られている。

#### ふるさと活性化グループ「やまぶどうの会」（庄内町）

北月山自然景観交流施設及び周辺の価値ある地域資源を活用し観光振興による誘客の拡大を図ることを目的に任意団体を設立。

長年主婦として培った料理の腕を活かし、閉鎖した山荘の食堂をレストランとしてオープンさせ、郷土料理を提供し、登山客や地元の人からも好評を得ている。女性の生きがいつくりや雇用の場の創出と同時に、当該レストランの人気により観光客が増加、地域活性化につながっている。

### 3 ワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み

#### (1) ワーク・ライフ・バランス推進トップセミナーの開催

ワーク・ライフ・バランスの推進は、働く人だけの問題ではなく、人口減少下における企業の経営戦略の一つであると、企業経営者から認識していただき、トップダウンで取り組むことが不可欠です。

そのため、企業にワーク・ライフ・バランスの理念を浸透し、企業における実践をさらに拡大するため、経営者等へ働きかける「ワーク・ライフ・バランス推進トップセミナー」を開催しました。

- ◇ 日時：平成25年11月3日（日）
- ◇ 場所：山形国際交流プラザビッグウイング
- ◇ 講演：テーマ  
「どきどき ワクワク シンプル人生 男と女の経済学」
- ◇ 講師：  
獨協大学教授・経済アナリスト 森永 卓郎 氏



#### (2) 山形いきいき子育て応援企業「ダイヤモンド企業」知事対談

「女性の活躍推進」「仕事と家庭の両立支援」の取組みが特に進んでいる「ダイヤモンド企業」に認定されている企業3社と知事の対談が行われました。

まず始めに、知事からワーク・ライフ・バランスについて県の施策の方向性が示されました。

各企業の代表からは、取組みを実践する背景や具体的な取組みが語られました。

この対談を通じて、先進企業には「働く人を大事にする」企業文化があることがわかりました。県としてもそうした考え方を他の企業でも取り入れることができるよう広く周知し、支援していきます。



吉村知事と対談参加者



吉村知事と対談する企業の代表、コーディネーター

#### 【参加企業】

- キャド・キャム(株) 代表取締役 齋藤 士郎 氏
- ※(株) 荘内銀行 代表取締役頭取 國井 英夫 氏
- 日東ベスト(株) 代表取締役会長 内田 淳 氏
- コーディネーター  
山形大学人文学部教授 國方 敬司 氏

※ 紙面参加

### (3) ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰

仕事と生活の調和がとれた社会の実現に向けて積極的に取り組み、成果が認められる企業を表彰することにより、県内企業の自主的な取組みをより一層促進し、県民の意識啓発を推進するため、「山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業」知事表彰を実施しました。

平成25年度は3社が受賞し、平成25年11月3日、山形国際交流プラザビッグウイングで表彰式が行われました。



細谷副知事と受賞者

#### 受賞企業概要

#### キヤド・キャム かぶしきがいしゃ 株式会社

〔所在地〕 鶴岡市      〔業 種〕 建築設計      〔従業員〕 80人

##### 〔主な取組み内容〕

- ・ 女性の少ない業界において、女性の能力が十分に発揮できる職場づくりに取り組み、女性の役職・管理登用を積極的に推進している。
- ・ 社員の育児を応援するため、充実した支援措置や各種特別休暇制度の導入、キッズコーナー完備など、独自の支援策を実施。
- ・ 育児・介護休業を取得しやすい環境基盤が整っており、休業中も連絡を密に取り、スムーズな職場復帰ができるよう努めている。

#### かぶしきがいしゃ 株式会社 コヤマ

〔所在地〕 村山市      〔業 種〕 製造業      〔従業員〕 201人

##### 〔主な取組み内容〕

- ・ 課長相当級以上の女性従業員40%と女性管理職登用を積極的に行っている。
- ・ 職員の育児支援のための環境整備や、休業中の定期的な職場訪問を促しスムーズな職場復帰を支援するなど、育児・介護休業を取得しやすい職場づくりを実施している。
- ・ パート労働者から正社員へ転換する制度を設け、実際に5名の従業員が転換した実績がある。
- ・ 年2回、従業員へのアンケート結果を実施し、職場環境改善に取り組んでいる。

#### かぶしきがいしゃ 株式会社 マイスター

〔所在地〕 寒河江市      〔業 種〕 製造業      〔従業員〕 49人

##### 〔主な取組み内容〕

- ・ 男性中心の刃物研削・精密部品加工工場において、20年以上前から女性の技能職を積極的に育成。平成15年には全国初の女性切削工具研削技能士を輩出、現在では女性技能職比率30%となっている。
- ・ 全社員研修としてダイバーシティに関する講演を実施しているほか、育児休業前後には産業カウンセラーによる個人面談を行い、休業・復帰のしやすい職場風土づくりに努めている。
- ・ 人員の配置については、業務量等により必要とされる人員よりも1割程度多く配置し、子の発熱等で急に休みが必要になった場合でも柔軟に対応できるような仕組みを構築している。
- ・ 「ブラザーシスター制度」を取り入れ、技術向上に関することのみならず、生活面や心のケアについても先輩従業員が若い従業員を支える体制を整えており、人材の定着に取り組んでいる。

## 4 山形県男女共同参画センター・チェリアの取組み

### (1) 山形県男女共同参画センター・チェリアの概要

山形県男女共同参画センターは、男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野に共に参画する豊かな社会「男女共同参画社会」の実現をめざす活動交流拠点として、平成13年4月1日より遊学館（山形市）内に開設しました。

愛称である「チェリア」は、チェリー（さくらんぼ）とエリア（場所）の組合せで、さくらんぼが山形県の名産であり、また二つの実が一緒になっている形が男女仲良く並んでいるようで、男女共同参画を表現しているように見えることからセンターの愛称となっております。



チェリアシンボルマーク

<チェリアの主な取組み>

#### ① 女性の人材育成・チャレンジ機会の拡大事業

地域における男女共同参画の推進者となる女性リーダーを育成するエンパワーメントセミナーとしてのチェリア塾の開催や講師派遣、研修派遣事業を実施しています。

#### ② 学習・研修・普及啓発事業

民間団体・グループが実施する男女共同参画に関する講座等の開催経費に助成金を交付する県民企画事業や男性にとっての男女共同参画促進のための男性セミナーの開催等を実施しています。

#### ③ 地域との連携強化、団体活動支援・交流事業

登録団体・グループの発表など県民の参加と交流を目的としたチェリアフェスティバルや県内4ブロックにおいて各地域が主体となって企画、実施する地域講座等を実施しています。

#### ④ 相談事業

一般相談、専門相談（弁護士による法律相談、臨床心理士によるこころの相談）、就職支援のためのキャリア・カウンセリングを行っています。

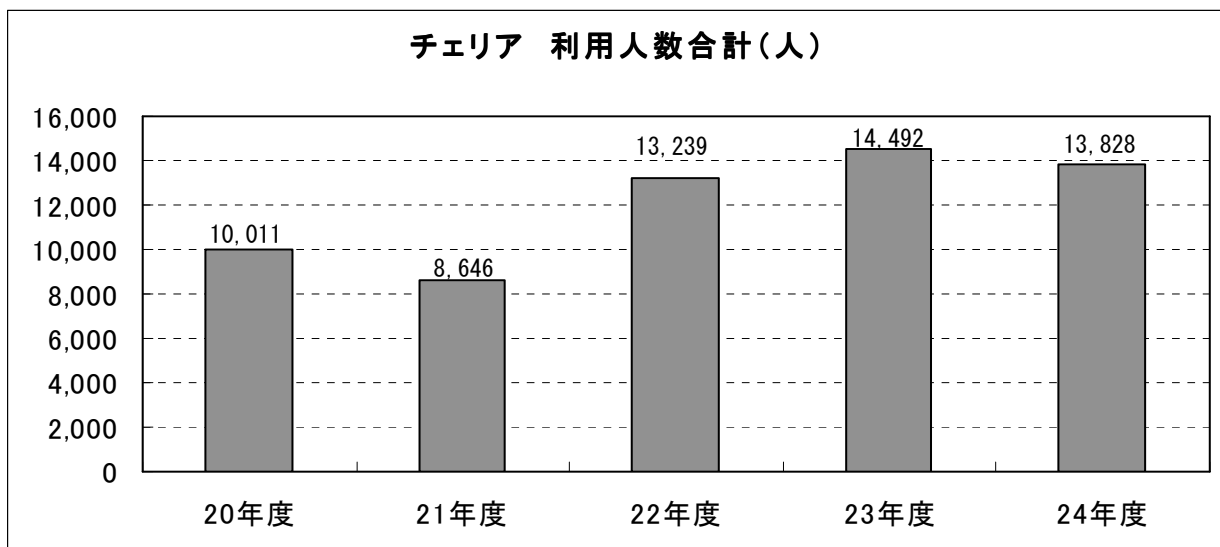
#### ⑤ 情報収集・提供事業

広報誌「チェリア」の発行やホームページによる情報提供を行っています。

#### ⑥ 調査・研究事業

各種調査、団体研究への指導及び各種研究を行っています。

<利用者数の推移（人）>



## (2) 平成25年度の主な実施事業

### ○ チェリア恒例の祭典「チェリアフェスティバル山形2013」を開催！

チェリアフェスティバルは男女共同参画社会づくりを目指して活躍している団体・グループの活動発表や県民の皆様との交流のため、毎年10月の第3日曜日に実施しております。今年度は「あなたとわたしが輝く未来への一步」をテーマに掲げ、10月20日(日)に遊学館で開催されました。

42名の各団体から選ばれた実行委員の企画により、元気いっぱいのダンスでのオープニング、講演会や団体・グループによるワークショップ、活動発表、男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰など今年も盛りだくさんの内容で、当日は、延べ3,792人のご来場をいただきました。

#### <細谷亮太氏による講演会>

「小児科医が考える 子どもと親 男と女」と題して、小児科医として、多くの子どもたちと接しながら、それぞれの家族のあり方を目の当たりにしてこられた聖路加国際病院小児総合医療センター長細谷亮太先生に仕事を通じて、また歴史的な背景から男女共同参画についてのお話をいただきました。



講演する細谷亮太氏

#### <団体・グループの活動発表>

ワークショップ9企画、展示発表10団体、ふれあいコーナー12団体と多くの団体が日頃の活動を発表しました。



ふれあいコーナーの様子

### ○ 「チェリア塾専門コース」を3コース開講しました

社会ニーズや女性の役割を踏まえ、地域で活躍できる人材を育成するチェリア塾を開講しました。昨年度の基本コースに続き、今年度は専門コースとして、審議会や各種委員会等の委員を目指す「男女共同参画リーダー育成コース」、地域課題を把握して、NPOの立上げや運営ができる「地域社会活動キャリア形成コース」、そして、企業等の管理職を目指す「ビジネスキャリア形成コース」の3コースを開講しました。「何かにチャレンジしたくて」、「一緒に考える仲間が欲しくて」、「自分の力を伸ばしたくて」など、それぞれの思いを持って、20歳代から60歳代までの方々が受講しました。単なる知識の習得だけではなく、それを活かし実践していけるようなカリキュラムに皆さん積極的に取り組みました。

#### ① 各コースの主なカリキュラム

##### ・男女共同参画リーダー育成コース

行政における審議会制度とその役割、イベントの企画と開催方法、コミュニケーション概論と実践、審議会傍聴参加

##### ・地域社会活動キャリア形成コース

NPOの設立手続きについて、地域が抱える課題の抽出、社会参画を考える、NPO団体との意見交換

##### ・ビジネスキャリア形成コース

管理職が身に付けるスキル、新聞から読めるもの、バランスシートから読めること、労務管理の理論と実践、企業金融とは



ビジネスキャリア形成コースでグループワークに取り組む参加者



## ② 講師陣

山形県、山形大学、県内新聞社、県内金融機関、県企業振興公社、県内企業、女性市議会議員など、県内の方々を数多くお願いしました。

## ③ 受講者の声

・今まさに、いろいろな場面で女性の力が求められていることを再認識しました。もっと積極的に考え、行動できる様に頑張りたいです。また、向上心ある多くの参加者と交流できて、大変有意義な時間を過ごせました。

・自分が、「今どんな社会にしていきたいのか」を考えさせられる講義です。熱意あるいろんな世代の方々と意見交換、交流することができ、参加して良かったと思います。子育て中なので、託児付きで一日勉強できるのも有難いです。

・NPOは今なお正しく理解されているとは言えません。営利目的ではなくても、儲けてはいけないわけではないし、競争原理が働いてより良いサービスが求められるのは民間と同じであると改めて思いました。週末の4時間の講義は決して楽ではありませんが、毎回振り返りシートを書くことで自分のものにしていきたいです。

・難しいバランスシートの読み方を詳しくじっくり説明していただきわかりやすかったです。仕事に役立つテーマを実践的に学ぶことができ、とてもためになる講義でした。一緒に学び合える仲間と出会えて、さらにやる気も出ました。

## ○ 男性セミナー「マネープラン&いきいき健康講座」の開催

2月9日(日) 13時30分から 遊学館2階 第5研修室にて男性セミナーが開催されました。

第1部は「マネープラン～これからの人生を楽しく～」と題して、山形県金融広報アドバイザー ファイナンシャルプランナーの清水彬氏を講師にむかえ、シニア期に自分らしく生きる為に「マネープラン」について教えていただきました。「老後の生活に向けて準備・認識しておくべきヒントが多く得られた」、「これからは年金給付減額だから節約の工夫と手元資金を減らさない事が大切だと分かった」などの感想が寄せられました。第2部は「いきいき健康講座～いい年齢をとる秘訣～」として 嵐田接骨院 院長嵐田郁夫氏から脳の若返りトレーニングをしながら健康管理について教えていただきました。「大変ためになりました。」、「いい年齢をとる秘訣は笑顔ですね。」などの感想が寄せられました。



いきいき健康講座でストレッチする参加

## ○ 地域ネットワーク活用事業

県内4地域に形成された男女共同参画地域ネットワークの活動の活性化を図り、性別や年齢に関わらず、多様な人々が自治会や地域活動などに参画し、地域という身近な生活の場での男女共同参画を促進することにより、みんなが暮らしやすい環境と活力ある地域の整備を促進しました。

### ① 村山地域

3月1日(土)遊学館を会場として、チェリアに登録している女性団体等による講演・研修会を行いました。男女共同参画センターの高木館長を講師に、「男女共同参画の今を考える」をテーマとして、講演いただきました。また、「山形の女性に聞きます Vol.1」のアンケート調査の結果をもとに山形の女性の意識についての意見交換をしました。

## ② 最上地域

新庄最上地域で男女共同参画活動を推進しようと活動している、地域づくり応援団「キラッとO～RA☆DA」主催、山形県男女共同参画センター・チェリア共催で、2月23日(日)「ゆめりあホール・アベージュ」(新庄市)にゲストにシンガーソング・ライター須貝智郎氏をお迎えして「食」トーク&ミニライブを開催しました。

参加者からは、「すてきなライブでした。心にしみる時間でした。」「庶民的な人柄と力強い歌声に感動しました。ユーモアあふれるトークで楽しいひとときでした。」「コンサート良し、食の話、命の話、共に良かった。」「子どもから年配までの幅広い年齢層でも楽しめるトークでとっても楽しい時間でした。」と大盛況でした。「また聞きたいです。」「学校に来てほしいです。」といった声も聞かれ、須貝智郎氏の人気うかがえるコンサートとなりました。



ミニライブで歌う須貝氏



須貝氏と一緒に記念撮影

## ③ 置賜地域

「女性のための健康セミナー&ハンドマッサージでスキンシップ」が米沢市コミュニティセンターで開催されました。チェリア塾(置賜)の修了生を中心としたネットワークグループ「置賜華組」と米沢市コミュニティセンター、そして、県男女共同参画センター・チェリアの共催で行われ、子育て世代のお母さんを対象にスキンシップの必要性や女性の体の変化について助産師の講師からお話をいただき、アロマオイルを使ったマッサージの実践なども行われました。

## ④ 庄内地域

「食でつながる!庄内いーていんぐ」が、チェリア塾(庄内)の修了生を中心とするネットワーク庄内ちえりあと庄内総合支庁、そして県男女共同参画センター・チェリアの共催で三川町なの花ホールを会場に開催されました。東北公益文科大学の伊藤真知子教授をコーディネーターとし、鏡谷貴子氏(酒田市:野菜ソムリエ・料理講師)、小笠原史子氏(鶴岡市:農家・「里山氣比の風」経営)、佐藤憲三氏(遊佐町:庄内浜文化伝道師・㈱ゆざ食彩工房)高梨美代子氏(庄内町:農家レストラン「農々家」経営)の4名のパネリストを迎え、庄内の食が様々な角度から紹介されました。約50名の参加者からは「食の大切さを感じた」、「庄内で農業や食にがんばっている人に出会えてうれしかった」などの発言が出されました。



実践者とのカフェ交流会の様子

## 5 DV未然防止に向けた意識啓発の強化

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から加えられる暴力」をいいます。配偶者からの暴力を防止し被害者を保護するための法律「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」が平成26年1月が改正され、同居する恋人間の暴力も対象になりました。

県では平成23年3月に新たな「山形県DV被害者支援基本計画」を策定し、男女が互いに人権を尊重し、暴力のない社会の実現に向けた取組みを行っております。以下では県及び県男女共同参画センター・チェリアの平成25年度の主な取組みをご紹介します。

### (1) デートDV防止出前講座の実施

若年層でのDV事案の未然防止、意識啓発のため、平成24年度から県内公立・私立高等学校、短期大学、大学等の生徒を対象に「デートDV防止出前講座」を実施しています。出前講座ではロールプレイ等もまじえながら学んでいただきました。

#### 【平成25年度事業実施】

村山地区 6校、最上地区 1校、置賜地区 1校、庄内地区 1校 延べ 9校



デートDVについて話し合う生徒



講師の話に耳を傾ける生徒

### (2) ～女性に対する暴力をなくす運動～パープル・リボンキャンペーン

被害者に対する理解や支援を図るため、11月12日から11月25日の女性に対する暴力をなくす運動期間に合わせ、パープルリボンプロジェクトに取り組みました。

今年も、県庁ロビー、各総合支庁、さらに県内全市町村で啓発ポスターの掲示やパープルリボンブローチの配布、パネル展示など女性に対する暴力をなくす運動の啓発に取り組みました。



遊学館2F ギャラリーでのパープルリボンプロジェクト展示の様子



米沢市役所ロビーでの展示の様子